過疎を吹き飛ばす情報基地戦略

# しかして私達は…

作画 西島淳之介

阿蘇郡南小国町
中湯田地区
全十七戸八十数名……

ともすれば
時代の流れから
取り残されて
しまうような
熊本の奥座敷です

しかし、
かつてここは
大分との交易路
であり……

関所が設けられ
人の往来で
にぎわっていたと
いいます。

そんな歴史的土壌の
せいでしょうか
中湯田の住民は
昔から視野が広く
独立性にあふれて
いるように
思います。

地区長
河津義孝さん
ちなみにここは
河津さんか梅川さん
の二つの姓のみです

たとえばここは
瓦屋さんさえ頼めば
家一軒建つ程に
職業バラエティーに
富んでいます。

基本は
農林業ですが…

土木関係

大工

内装

電気工事

畳

雑貨卸
コンピューター関係
公務員
ETC……

それぞれが
県内外に広く
取り引きをする、
多様で自立した
仕事を持っている
のです。

そして今、
この多様性と自立性、
活動範囲の広さは
自発的な地域作り
へと発展しています。

生活改善グループが
作る第一弾ヒット商品
「押戸石みそ」を
はじめ

農産加工場
「ねむの家」

私自身は大学卒業
後、家業の林業を
発展させ、従業員
数名の木工所を
経営し

他の方々同様
県内外からの
注文に忙しい
日々を送って
います。

注文家具

黒川温泉
入湯手形

アメリカへ留学した
河津耕治氏は
酪農家から一転
独学で翔平焼
という窯を
開き

また、
無農薬米の
契約栽培も
しています。

花キ農家の
ドライフラワー
アート……

かずら工芸

紙工芸
ETC……

その他
老若男女
まだまだ多様な
チャレンジャーが
住んでいます。

大学や農業の
外国人留学生の
ホームステイによる
国際交流

子供たちは
大ようこび
でした。

特産物販売をはじめ、
ホタル狩り、串焼大会
などの
熊本市との交流も
その他、毎年何かを
企画するように
なりました。

あら、
今夜はお宅でも
花火ですか?



どうせなら
みんなで
集まって
しましょうよ

よかねぇ、
夏祭りって
わけたい

おおぃそら面白か
いつワイのこと
お盆にやれば
帰省で人数も
多かばい

ワィワィ

うん、
会費集めて
ねむの家前の
広場で……

と、まあ
計画から実行の
素早さ、まとまりの
良さもここの
特長でしょうか

ワィワィ
あっはは
キャッキャッ

せーんぶタダ!
飲み放題 食べ放題
はーーーい!

また、私達は共同で
車検の積み立てを
していて
毎月一回集まりを
開いています

今月は
うちのが
車検だけん…

はじめは
車検をたてまえに
雑談を楽しむ
集まりでしたが

いやーしかし
夏祭りは
みんな飲んだな
なあ……

次の日
二日酔いで
なあ……

ところでだい
休耕田を利用した
農業ホームステイ
なんてのは
どーだろか

今は自然と
地域おこしの
話に移ります

なんな
そら?

週末に
都市部の人達に
泊りがけで
農業をしに来て
もらうとよ

なるほど
土地提供者の
家にホームステイ
するわけね

ばってん
休耕田の活用
だけが目的じゃ
なかとよねー
これが

ワィワィ
ワィワィ

我々はもちろん
年寄りや子供達
への刺激……
つまり考え方の
活性化が
目的だ!

なーるー

そうかあ!
つまり
生きた情報を
持って来て
もらうわけだ

地域とは
なんでしょう?
……

ゆたかさとは
なんでしょう?
……

ほんとうの
地域おこし
とは……

ここは一見
どこにでもある
ような過疎地に
見えます

都会にない
すばらしい自然に
囲まれているとか
言われても
住む者にとっては
あたり前の風景です

しかして
私達はここに
住み続けます
……

いろんな
事業計画をたて
子供達が楽しく
誇りに思える
すばらしい
地域づくりを
目指してね

チュイ
キィ

わずか十七軒
されど十七軒

自立し、未来を
見据えた活力が
今日も新緑の山里
をつつむ——